

# 翠風園

# ひかり通信

第13号



発行月： 平成31年4月  
制作・発行： 社会福祉法人 正瑛会  
                  デイサービスセンター 翠風園  
                  ヘルパーステーション 翠風園  
                  グループホーム 翠風園  
                  居宅介護支援事業所 翠風園  
                  理事長 野水 清志

所在地： 〒950-1236  
                  新潟市南区高井東2丁目13番33号  
連絡先： 025-362-7600  
ホームページ： <http://www.suifuuen.jp/>



秋葉区小須戸の銘産

ボケ  
木瓜の花

ご挨拶

ヘルパーステーション  
サービス提供責任者

捧 彰子



いつも翠風園をご支援下さいます、地域の皆様、関係者の皆様、利用者様、誠に有り難うございます。

私は現在ヘルパーステーションに勤務し、ヘルパーの先輩方、利用者様から一つひとつ教えて戴きながら、毎日楽しく働かせて戴いています。

また、この広報誌「ひかり通信」の編集長もさせて戴いています。最初の頃は、書いてもらった原稿が長すぎた為に独断でカットしようとしたり、撮影時、相手への配慮に欠けて嫌な想いをさせてしまったり、沢山の失敗をしました。

しかし、その都度ご指導戴いたお蔭で、「人を生かす編集をする」という大切な心得を教えて戴きました。

今回のひかり通信の内容を、施設長と打ち合わせした際、「今迄は、職員紹介を入職した順番で紹介していたかもしませんが、私はその時期に一番努力している職員を紹介して欲しいと思っています。それが職員の意欲に繋がればなお嬉しいと思いませんか？」と話して下さいました。

私は、この施設長のお話に大変感激し、「人を生かす」編集を、また一つ教わる事が出来ました。

編集の時、相手の方を良く観察し、心を通わせ、自分の出来る精一杯を尽くす努力をする事は、介護の仕事でも同じです。

私は、利用者様や職員の方が生き生きとしている姿を見るのが大好きです。その為に自分に何が出来るだろうかかと考えていると、私自身がとても幸せな気持ちに包まれます。翠風園で十五年の間、育てて戴きました事に感謝し、これからもより一層、人を生かす事を探求して参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

# デイサービスセンター グループホーム

## 「問題事・失敗への感謝祭」



平成三十年八月九日から十五日まで、  
デイサービスセンターとグループホーム  
ム合同で『問題事・失敗への感謝祭』  
を行いました。

「問題事・失敗」と聞くと「出来れば避けたい、失敗したくない」という、  
マイナスのイメージを持つ方が殆どで  
はないでしょうか。

しかしながら、問題事があったお蔭  
で新たなアイディアが生まれた、失敗  
があったお蔭で今があるという方もい  
らっしゃると思います。

そこで、私達職員も利用者様が今迄  
に経験された「問題事・失敗」等につ  
いて振り返って戴きました。そして、  
長い人生の体験から得た、感謝、解決  
策、知恵等、貴重な経験を教えて戴き  
ました。

又、職員も一人一人が『問題事・失  
敗への感謝』の文章を考えましたので、  
代表してデイサービスセンター介護職  
員の酒井佳代子さんの文章を紹介した  
と思います。



### 「問題事・失敗への感謝」

デイサービスセンター 介護職員

酒井 佳代子



私のこれまでを振り返ってみますと、上手くいった事  
や、良い事はすぐに浮かびますが、それに対して、  
失敗や問題ごとは出来れば思い出したくない等、後ろめ  
たい気持ちが大きかったと思います。

翠風園では、「失敗は進化の種。失敗して当たり前。  
ただそこから何を学べばいいのか次に向かう方向をきち  
んと考える事」を教えて戴いています。

私には忘れられない失敗があります。

介護の仕事に少しずつ慣れて来た頃、自分の不注意に  
より、利用者様に怪我をさせてしまった事がありました。  
利用者様にはすぐお詫びさせて戴きましたが、その後ご  
家族への報告と謝罪に自分が何うべき処を、私の代わり  
に、送迎担当の先輩が嫌な顔一つせず謝罪して下さい、  
私は申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

しばらくは何をするにもこの失敗が頭に過ぎり、私は  
とにかく落ち着いて、焦らず、二度とこういう事は起こ  
さない心を決め、仕事をしました。

今私にも、沢山の先輩が出来、自分と同じような失敗  
をさせないように、自分の体験を話しています。

そして、素直に聞いてくれる先輩がいて、失敗を生か  
す事が出来、今では失敗に対して、有り難いという気持  
ちの方が大きくなりました。失敗からきちんと学べるま  
で、私を育てて下さった先輩、職場があることが心から  
有り難いです。

私も色々な職場でアルバイトをしたり、働いたりして  
きましたが、一生懸命に人を育てて下さる会社は中々な  
いと思います。この職場の環境が本当に有り難いです。  
これからも、宜しくお願ひします。

次に、当日の感謝祭において利用者様が披露して下さいました、『問題事・失敗への感謝』の文章を紹介致します。

利用者の皆様が話して下さい下さった大切な内容は、私達職員が確りと心に受け止めて、これからの人生の糧に致します。

グループホーム  
女性利用者様

私は何をしてしても満足に出来ませんでした。失敗も沢山しました。でも、失敗をしても、くよくよしない様にしています。

デイサービス  
八十八歳男性利用者様

お米は、天候に左右され、不作の年もあります。今年より来年、来年より再来年と、年月を掛けて良い米を作り出してきました。失敗をして、良い米が出来ます。

デイサービス  
八十九歳女性利用者様

結婚して、何も知らない農業で大変でしたが、この経験があったからこそ、人の優しさや辛さが分かります。その経験があるから、今本当に幸せです。

デイサービス  
八十六歳女性利用者様

交通事故で入院した時、色々な事が出来なくて、本当に切ない思いをしました。当たり前の身体と日々にしみじみと有り難いと感じました。事故に遭わなければ感じられない事でした。

グループホーム  
女性利用者様

子供の頃から、兄弟と仲良く遊んだり、喧嘩もしました。兄弟は他人の始まりと言いますが、兄弟同士が言葉に気を付ける様になりました。

グループホーム  
女性利用者様

若い頃から、数えきれない程失敗がありました。そのお蔭で今があるのだと感謝しています。

# 問題事・失敗への感謝祭

## くナレーションく

私達はこれまでに、いくつもの問題事を抱え、失敗を経験しながら生きてきました。

お米は、昔は病気や寒さに弱く、不作の年もありましたが、沢山の研究が重ねられ、今では、寒さや病気に強くなり、美味しいお米がいつでも食べられる様になりました。

野菜や果物は、昔はそれほど甘い物はありませんでしたが、品種改良の結果、今では様々な品種が出回り、甘みの強い野菜や果物も食べられる様になりました。

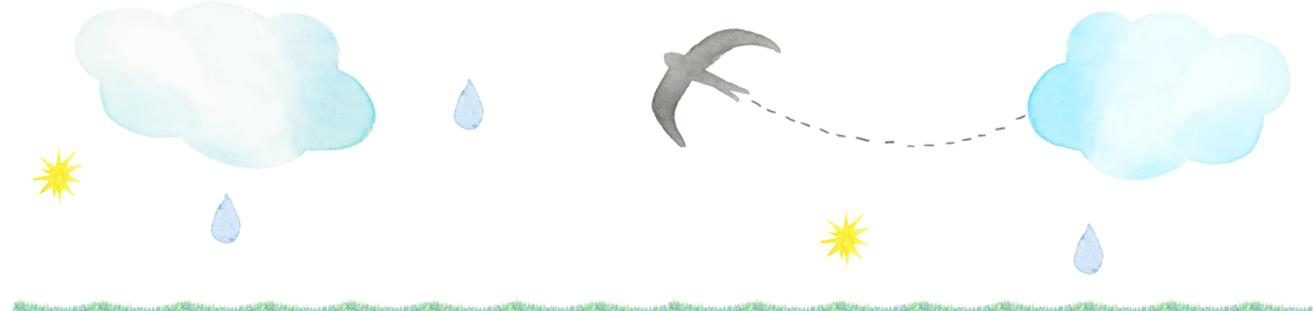
この様に、問題事への解決策を積み重ねて、私達の生活は豊かになりました。

問題事が起きると、最初はどうか分らない事でも、私達は自分の力で真剣に答えを考え出し、成長してきました。すると、次の新たな段階の問題事が現れ、更に進歩していきました。問題事が目標を示してくれるお蔭で、私達は階段を上がる様に進化してきました。

この度の西日本豪雨では、記録的な大雨によって、川の水が溢れたり、人々の生活が一変する大問題が起きました。かつては、私達が住む地域でも、信濃川や中ノ口川が何度も氾濫しました。その時代には、先人の方々のご尽力で、分水や土手が作られ、私達は安心して生活できる様になりました。

今の時代に起きている異常気象は、私達人間の生活が自然を壊してきた事の影響も考えなければいけないと思います。





この異常気象は「人間が大自然と調和して生きるにはどうすればよいか」という、新たな、大きな目標を示し、人間が次の段階に成長する為の大切な教材を与えて下さっているように感じています。

次に、失敗の体験が私達自身の心の中に残したものに目を向けてみたいと思います。

私達は、失敗をしては、恥ずかしい思い、惨めな思い、辛さ、逃げたい気持ちなど、様々な想いを味わってきました。

しかし、振り返ってみると、そんな痛い思いをしたから学べた事も多くありました。「もうこんな失敗はしない！」という強い想いは、前に進む為の原動力になりました。

失敗を反省する事は、自分自身を深く見つめる切っ掛けになりました。失敗のお蔭で、他人様の言葉を素直に聞くようになって、謙虚に習う事を覚えました。

二度と失敗しない為に、深く考える力を養い、新たな工夫が生まれました。そして、支えて下さった友達や家族の愛に気付き、感謝の想いが深まりました。

周りの方々の優しさに心が救われ、自分も人に優しくなりました。同じような思いを味わった人に対して、理解しようとする心が生まれました。

失敗を経験したからこそ、私達は人として成長しました。

この様な体験から、問題事や失敗は沢山の学びを与えて下さる大切なものだと実感し、私達が成長、進化して行く為に、絶対に必要なものだと分かりました。

本日の感謝祭にあたり、この翠風園にお越しの皆様とご一緒に、私達を育てて下さった問題事や失敗に、真心を込めて、感謝をしたいと思えます。

ありがとうございます。



# 居宅介護支援事業所



所長 宇都宮 秀子

居宅介護支援事業所を開設して、一年と八ヶ月が過ぎました。この間、ご縁のあった利用者様は一〇三名、そのうち三十二名の方の利用が終わりました。亡くなられた方が十三名、そして十九名の方々が施設へ入所されたりしました。わずかな間に、沢山の出会いと別れがありました。がみな思い出深い方々です。特に亡くなられた方々には、その都度、次の世界への旅立ちに向けて、心からの手向けの言葉をお送りしてきました。

高齢になり幾つかの病気をもちだすと、暗い話にもなりがちですが、ある時、「自分の周りに起こる出来事は、善でも悪でもない。その出来事にどんな意味を見出し、どんな価値を見い出せるかで、その出来事は生きもし死にもする」と教えて下さった方がいました。私はその考え方に驚き、そして感激しました。

その方は、自分の病気をそのように捉えていると、話して下さったのです。本当にこの考え方が身に付いたら、課題・問題山積みの私の人生は、確かに知恵の宝庫になると思えました。そしてすぐには出来ませんが、少しずつ、少しずつ、この考え方に当てはめて問題を考えていくと、所謂困難事例と言われるものが、何と自分達の意識転換を促してくれるものなのかと、目の覚める想いでした。

そうしてみると、日々起こる問題が楽しくなってきました。これをどう解決出来るだろうか、この問題の意味は何だろうかと、常に想いを馳せ頭を巡らせていると、ハツと思う瞬間があります。この瞬間が訪れると、自分が俄然楽しくなり活気が溢れます。「そうだったのか!」と、研究者が大発見をしたような感激に包まれるのです。



利用者様に習いながら自分を成長させて参ります!

どんな小さな事でも長谷川さんと相談しています



11月、新潟市地域包括支援センター様主催の勉強会に、パネリストとして参加させて頂きました。テーマは、「高齢者虐待防止」で、大勢の福祉関係者の皆様が参集されました。

その中で、『虐待やその芽に気付ける職員教育のあり方』として、翠風園での感謝祭や、霊的介護の取り組み等をお話しました。

終了後、参加者の方より、「今日のお話をお聞き出来て良かった！介護の原点のようなお話ですね」等、嬉しい感想を戴きました。

包括支援センター様、貴重な機会を与えて戴き、有り難うございました。



私は科学の研究者ではないけれど、利用者様やご家族と接しその問題事の中で、答えを発見する喜びを与えられているのだと、本当に有り難く思いました。

利用者様の支援をする事で、私の意識が広がり、小さな常識に凝り固まっていた自分の小ささに、気付く事が出来ました。南区だけでも本当に多くの方がいらっしやり、それぞれの考え方があり、善と悪だけでは決められない事ばかりなのだ、この一年八ヶ月で学ぶ事が出来ました。

毎日が習うことばかりです。利用者様に習い、ご家族に習い、同業各社の皆様に習い、自分を成長させて参ります。そして、少しでも地域の皆様のお役に立てるケアマネージャーになれたら幸せです。どうぞこれからも宜しくお願い致します。



# 居宅介護支援事業所から



宇都宮所長と共に、居宅介護支援事業所に所属している、長谷川満さんを紹介致します。この文章は、今年一月に行った正瑛会新年会においての内容です。介護支援専門員（ケアマネージャー）という新しい仕事を、若さと熱意で一生懸命に取り組んでいます。

介護支援専門員 長谷川 満

皆様、明けましておめでとうございます。いよいよ平成という年号も最後の年を迎え、今年五月には新しい元号に変わりますが、私も今年一年は絶対に充実した年にするぞ！と意気込んでいます。

正瑛会の新年会という目出度い席でご挨拶する機会を戴き、とても嬉しく思っております。

居宅介護支援事業所が開設してから一年半が経過し、担当させて戴く利用者様も増えて参りました。順調に信頼関係が築けてサービス利用に繋がるケースもあれば、本人と家族の希望が合わず対立している家庭や、中にはお一人暮らしで身寄りがなく様々な問題を抱えて、支援が難しいケースも増えてきております。

私は自分のありのままの姿を中々認める事が出来ず、失敗したら落ち込んでしまう事が多いです。打たれ弱く、小さな事にも悩んで頭を抱える時もあります。そうやって深く考える機会を与えて下さる問題事こそ、有り難い事なのだ、最近ようやくやく思えるようになってきました。

困難を「大変だ、面倒だ」と思わず、その状況を楽しむ事。大いに悩んで考えて、どのような形で支援したら利用者様やご家族、お互いが並び立ち幸せになる事が出来るか、宇都宮所長と手を携えてこの一年やって参りますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

新年会でのひとコマです！



長谷川さんの笑顔は人をホッとさせてくれます！



# ヘルパーステーション



正瑛会では、年の初めに職員をはじめ、事業所ごとで一年の目標を立てています。ヘルパーステーションでは、数年間「有り難う探しをする」を目標として行って来ましたが、平成三十年度の目標は、新たに「訪問先のお宅を有り難うの想いで満たす」と設定致しました。利用者様お一人おひとりに対して「有り難うございます」の想いで関わらせて戴く事と共に、訪問先のお宅（建物や空間）にも同じ想いを持って仕事に取り組んでいこうという目標でした。

この一年で私達ヘルパーが感じた事は、

- ・自分が有り難うの想いで仕事をしているか、常に意識するようになった
- ・有り難うと自然に口にしながら掃除していた処、そのお宅が爽やかに変わった感じがした
- ・有り難うの気持ちで援助する事で、その想いが利用者様にも伝わっていると感じた
- ・対応が難しいお宅に訪問する際、この目標を思い出し、自分の感情を切り替える事が出来た
- ・時々、時間に追われて焦ってしまった時は、有り難うの想いが薄れていたように思う
- ・家族関係や病気の事など悩みがおりの方も多いたが、自分から有り難うを発信して雰囲気を変える様に努力するようになった。そうする事で、利用者様の笑顔も増えたように思う

以上のような意見が出ました。まだ目標達成とは行きませんが、想いは伝わる事を実感させて戴きました。

また、ある利用者様から次の様な話をお聞きました。  
「或る日、外出した際、小走りで買い物カートを押している人を見かけました。良くみると、我が家にも来て下さっているヘルパーさんでした。他の方の援助中だったそうですが、私が買いたい物をお願いした際も、僅かな時間でこの様に一生懸命買物をして下さっていたのかと思ったら、胸が熱くなってしまうました。そのヘルパーさんの後ろ姿を見送りながら、有り難うと手を合わさずにはいられませんでした。今迄知らなかった事に気付いて嬉しかったです」

私達は、この様に利用者様から、日々有り難うの想いを掛けて戴いている事に心から感謝し、これからも目標に向かって励んで参りたいと思います。



「来てくれて有り難う！」と言って下さる青木様。作り作品を見せて戴きながら、会話も弾みます

「今年も感謝の想いで訪問させて頂き戴きます」



# グループホーム ヨガ体操



「膝を回しましょう！」



笑顔が素敵な山田晃様です

グループホームでは月に一回、利用者様を対象にヨガ体操が行われます。講師は、新潟市で「沖ヨガサンヘルス」の代表でいらっしゃる、山田晃様です。

当日は、萌木と花浅季の両ユニットの利用者様が集まり、山田様の軽快なトークと絶妙な誘導で利用者様が笑顔になり、三十分くらい身体を動かします。

その様子は、利用者の皆様も本当に楽しそうでした。終わった後は「身体がポカポカになりました。楽しかったので、また参加したいです」と仰る方が沢山いらっしゃいます。

そこで、この度、この様な素敵なひと時を提供して下さる山田様に取材させていただきました。

「翠風園のグループホームで、ヨガをするようになったきっかけは、私の母がここで世話になっていて、母に面会に来る度に、職員の皆さんが本当に一生懸命に働いていらっしゃる様子を見ることができました。」

そして、法人の理事長がこちらの土地を提供され、地域に貢献したいと願われた事、また翠風園の理念に共感致しまして、私も何かさせて戴きたいと思ったのが最初です。



職員向けヨガ  
「佐藤菊美さんの見事なポーズ！」



「腕を上にあげましょう  
～」

そこで、自分の母だけが元気になるのではなく、共に暮らす利用者の皆様が元気で過ごशीになれるようにと願い、ヨガを取り入れた体操をさせて戴こうと、グループホームの管理者の方に同意を戴き、平成二十六年から、ボランティアで毎月一回のペースで開催し、利用者様に合わせたメニューを考えて行っています。私の心の中では、『日本一元気な翠風園になりますように！』という想いを込めて、楽しく伺わせて戴いておりますので、これからも宜しくお願いいたします」

山田様からこの様なお話を聞かせて戴きました。  
翠風園の理念は、報恩・感謝・奉仕です。

私達は職員として、理念を体得できるよう日々努めておりますが、今回、利用者様のご家族が見せて下さったお姿を拝見し、心から感動してしまいました。

また、山田様は働く職員の様子をご覧になって、職員の腰痛予防になればとの想いから、職員向けのヨガ教室も開いて下さいました。ヨガを初めて体験する職員も多い中で、ヨガの歴史から詳しく説明して下さい、山田様の誘導の下、ゆっくりと心も身体も癒して戴きました。

職員の中には「すっかりヨガの魅力にはまってしまいました」  
「山田さんの笑顔と誘導に、身も心も癒されてその日は深い眠りにつくことが出来ました」など多数の意見が寄せられました。

これからも山田様の応援を戴きながら、日本一元気な介護施設を目指して参りたいと思います。

# 職員紹介



厨房職員 若月美奈子

私は、翠風園で働かせて戴いて一年になりました。調理の仕事は初めてで、先輩方から指導して戴いております。

翠風園では、利用者様お一人おひとりに合わせて、普通食、刻み食、ミキサー食などを提供しています。更に、盛り付ける量や禁止食、嗜好も考慮しながらきめ細やかに調理をしている事に、驚きと共に大変感動致しました。

先輩方から、調理の心構えや知識、技術を丁寧に教えて戴きながら励んでおりますが、まだまだ失敗も多くあります。その様な時でも、先輩方は私の失敗をカバーし、時間までに料理を仕上げ下さる事に、ただただ頭が下がる想いです。

また、この様な私にも、利用者様は労いの言葉や「美味しかったよ」と感想を伝えて下さいます。

その想いにお応え出来るよう、先ずは先輩方から教えて戴いた事が身に付くまで、毎日習い続ける事を行って参ります。



大好評のカニクリームコロッケ！とろけます



ちらし寿司の日もあります！



おやつも手作りです

## 利用者様からの声

翠風園の食事は、本当に美味しいです！味付けがとにかく最高。あまりに美味しくて、お昼に頂いた味を忘れないうちに、夜自宅で真似をして作っています。これからも楽しみにしています。

翠風園の食事が美味しいと耳にして、利用させてもらいました。実際に食べてみると、なんともいえない優しい味付けで、退院直後で食欲がなかった処、ご飯が食べられるようになっています。ありがとうございます。

あのカニクリームコロッケが美味しかった！作るのに大変だっただろうと思ってお礼を言わずにはいられません。私も主婦だったから、作る人の苦勞を思うと、感謝しながら頂いています。